

群馬県 グループホームめだか 地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	GHめだかとしての理念は、「明るく、楽しく、安全な生活を支援します。」と掲げており、地域ボランティアを多く取り入れて明るく楽しい生活を支援しています。		毎月の第3土曜日の定例ボランティアや高齢者用の生涯学習など多く取り入れています。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の生活が出来るだけ楽しく明るいように職員一同努力しております。	○	今年度は、職員の出入りが多かった為特に安全な生活を支援する事に重点を置きました。今後は理念に基づきより充実したホーム作りに努力します。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や家族会での参加で少しずつ理解されていると思います。		特に、イベントを通して地域の方に参加して頂き、グループホームに対しての理解が少しずつされているように思います。
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	同敷地内(両隣り)がグループホームということでそちらとの交流が多いのですが、近所の方からお花や野菜を頂いたりしています。		イベントの際にはお声を掛けさせていただきます。カ顔見知りになるという事はとても大事な事だと思います。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域での運動会などお声がかかったときに参加させていただきます		豊岡地区の大運動会に参加してきました。また老健と合同の大きなイベント秋祭りなどにも地元の方に参加して頂きます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議の時に地域の方や民生委員の方から、ご相談があったりします。		独居の高齢者の方の退院後の相談や家族介護で悩んでいる方などに対して介護保険の事や施設利用についての手続きの方法などを説明させて頂いております。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や外部評価について現在、新入職員が多く困難です。	○	今後、自己評価や外部評価について全職員に浸透して行きたい。また改善に向けて活用していく所存です。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	評価表の配布や説明をしてその後、会議の中で、話し合います。		玄関の施錠について、ご家族様や介護相談員の型から理解あるお話が伺えたり、日々の取り組みについて励ましのお言葉を頂戴したりします。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	現在は、運営推進会議のほかに市町村の担当の方と行き来する具体的な場はありません。	○	会議以外のイベントなどにも参加して頂く様努めてまいります。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	めだかでは現在利用されている方がおります。	○	今後はこれら権利擁護や成年後見制度についての学習ができるような機会を作れるように努力いたします。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修などは業務に支障がないように参加しています。	○	めだか内においてまた、新しく入所される方なども、虐待はありません。今後も学習する機会が出来る様に努力いたします。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際は、十分な時間を作り一つ一つ説明しております。	退所にて解約となる場合においてもご家族様に不安がないように解約後の先まで可能な限り対応し話し合いをしています。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様からの直接的なご意見はあまり伺えませんが、あれば可能な事はすぐに具体的に対応します。	○ 利用者様が御意見や不満、苦情などを気軽に声に出るように傾聴する機会を多く作り、介護相談員の方にも話し合いをする機会を多くしたいと思います。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	定期的には運営推進会議を通して、ほかめだか便りでの報告お知らせ、金銭管理についてもご家族様が来苑された時に行ないます、	金銭管理については、H19年12月1日を以って、お預かり金管理は返却後中止いたします。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見箱の利用の他、面会や運営推進会議などに意見が出るように声を掛けさせていただいております。	入浴日を増やして欲しいという要望が出ておりますが現在は困難です。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員からの意見は、めだか会議に機会にし提案報告をしております。	現場職員の業務多忙に付き、食材購入について改善が出来る様に食材の宅配の導入ができました。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	ご家族様からの要望で可能な限り、職員の体制を調整して対応しています。	入浴日に外出されるような時は、時間を調整したり曜日を調整したりしています。可能な限りですが。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	今年度は、職員の体調不良や私事都合により退職された職員が多かったのですが、利用者様に対する影響はありませんでした。	○ 平成20年度の離職、異動は必要最小限になるように努力したいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	業務に支障がでない体制において研修勉強の機会を作っております。	○ しかしながら今年度は、非常に難しい状態です。今後は機会が多くなるよう努力したいと思います。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	今年度はとても困難でした。	○ 平成20年度は可能な限り取り組みたいと思います。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスの軽減というよりストレスを感じる間もないほど忙しかったと思います。	職員間での不満やストレスについて話し合いが出来る機会を作りたいと思います。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	一人、一人パートさんに至るまで勤務について努力されていると思います。	より一層の向上心をもつてのチーム作りを努力したいと思います。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	利用者様の細かい観察と話し合い、またご家族様からの聞き取りから不安の除去に努めております。	しかしながら、認知症の症状の出方によっては、職員に対して信頼関係を築くのが困難な利用者様も、居ります。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ご家族様とは話し合いとその後対応により、利用については早くに不安を除去されるように思われます。	ご家族様とのコミュニケーションは良い方向だと思います。今後も信頼関係の良い継続に努めます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	観察と聞き取りから、先ず始めに一番に必要なと思われる事から適切な対応して行きます。		職員全員に必要とされる必要な支援について適応できるよう見極める力を養いたいと思います。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	めだかでの仲間、友達作りから始まり、得意分野の見極め発見などから徐々に親しめるようにしております。		ショートの利用や入院生活をされていた方などは早くに溶け込めますが、そのほかは少しずつ馴染んでいただきます
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	介護する方、される方と一方通行ではなく、お互いに「お願いしますね。」と可能な限りで頼りにしてお任せしております。		積極性、自立心ともに旺盛で、頑張られております。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	以前と比べると残念ながらご家族様の対応については変化があります。		利用者様が変わりますとご家族様の内容も変化し手、面会率が低くなったり外出や外泊の機会も変化があります。しかしながらご家族の事情を考慮しますと難しい内容もあります。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	ご家族様によっては、家族間の内容を職員に詳細にお話していただき、我々職員がなかに入って家族間の関係をより深めたりします。		疎遠になりがちなご家族様にも良い方向に向かうように努めています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	継続可能な場合は行いますが、困難に思えます。		ご家族様によっては、認知症で施設やグループホームなどを利用している事に関して御家族間だけにとどめておきたい方もいますので、難しい問題です。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	互いに声を掛け合い、協力されて生活されております。		食事の時や清掃、また室内を行進しての歩行訓練などよく声を掛け合っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	同敷地内にて老健やグループホームがありますのでつながりは大切にしております。		利用者様、ご家族様共に断ち切らずに声を掛けさせていただきます。
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来る限りですが、御本人の意向が反映されるように努力しています。		積極的、消極的様々ですが、御本人の意志、気持ちが一番だと思われれます。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	9人という団体生活ですので全てを個人に任せるといわけには参りませんが、極端に生活スタイルが変化するという事はないと思います。		衣食住環境において先ずは、聞き取りから始めます。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	その人なりの無理の無い一日が過ごせていると思います。		毎日の生活リハビリや作業もむりは禁物にしています。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	問題点や課題が上がったその都度話し合います。		問題によってはご家族様の協力を要請します。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	基本的には3ヵ月ごとを目安に見直しておりますが、生活状況や体調に変化あり、支援に対して変化が起きた場合は、変更作成します。		特に入退院後などは見直しが必要か否か先ず、状況の把握に努めます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	細かく記録されていると思われます。		特に個別対応の内容などの記録に努めています。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	可能な限りですが、要望に叶うような支援に努めております。		誕生会に希望を活かしたり入浴の曜日や時間を状況に応じて変更したりと可能な限りですが行います。
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域ボランティアの方や民生委員の方の協力がとても多く利用されています。		イベントや家族会など良くこえを掛けさせていただいております。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	必要であれば話し合い利用します。		現在、高崎市以外の利用者様も降りますので地域外の話し合いや訪問もあります。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要があれば行ないます。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族様が比較的、に罹りつけ医については積極的です。		めだかの担当医に移る方がほとんどです。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		<p>同地域という点からもとてもまめに協力して頂いております。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		<p>訪問看護の導入により健康管理に協力して頂いております。</p> <p>相談のしやすい環境です。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		<p>ここにも、訪問看護の協力や相談員との情報交換を行い連携に努めております。</p> <p>安心できるようにご家族様とも話し合い連絡を良く取りま</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		<p>まず、入所時に終末期について話をします。また体調により介護のみの支援が無理となった場合担当医や訪問看護の協力そしてご家族様とも話し合います。</p> <p>基本的にはご家族様と担当医の指示、意見を第一にいたします。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>とても重要な問題だと思われます。現在は終末期のケアについて取組まなければならない利用者様がいない状態ですが、いずれ取組まなければならない状況になると思います。</p> <p>今後は職員の意識とご家族様の協力の下に努力してゆきたいと思えます。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		<p>まず、住み替えについても安易に答えを出しておりませんが、何らかの理由で住み替えが生じた場合ご本人への影響が最小限で済むように努めております。</p> <p>現在、自宅へ戻るといいう利用者様はほとんど居りません。が別の場所へ移る場合話し合いを十二分に行なっています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	性格や性質その人らしさを大切に対応しております。	時には、利用者様同士での対立がありますが、そういった場合がととても難しい声掛けや対応となります。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	個々に合わせて対応しております。	最終決定はご本人が行なう事が多いです。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	大まかな一日の内容は出来ています。	やはり、最終決定は御本人です。また、徹底してマイペースでの過ごされ方をされる方ももちろん居ります。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	ご家族様の協力の下、おしゃれを楽しまれております。	染髪やパーマをかけるなどはご家族様に協力して頂きますが、外出やお祭り、お節句などはお化粧品や香水をつけてのおしゃれを楽しまれております。ご家族様にも喜ばれております。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	女性の利用者様は、長年主婦業をされてきたのであまり好まれません、配膳や下膳テーブル拭きなどは積極的です。	食事の30分前になると、「手を洗ったので台を拭きましょうか?」「お茶を配っていいですか?」など自然に動いてくださいます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	GHめだかでは、お酒や喫煙は苑内禁止にしております。飲み物については、朝茶、10時、15時、19時と水分補給を施行しますが、特に10時や19時の水分補給については好みや排便状況に応じて施行します。	禁煙がどうしても出来ない利用者様には、ホール外の玄関やポーチに出て喫煙して頂きます。また飲酒はお正月の三が日はお屠蘇気分を味わっていただきたく飲んでいただきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	紙パンツやパットの使用や布パンツの着用の方など利用者様の排泄パターンに応じて日中夜間使い分けたりしております。		夜間のみ紙オムツの使用し日中は紙パンツ対応にしたり、3時間ごとにトイレ誘導したりとそれぞれです。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	残念ながら、入浴に対しては曜日や時間帯は決めておりません。	○	但し、受診や外出、また外泊などで入浴日に入浴が困難な場合などは出来る限りですが曜日や時間を変更したりして都合を合わせたりします。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜間の睡眠が、頻回なトイレ覚醒によって浅眠だったり、日中傾眠傾向な利用者様には自室でのベット臥床を促したり、眠れない訴えの利用者様にはホットミルクを飲んで頂いたりします。		特に、冬季は御希望により湯たんぽや電気毛布などの使用により安眠の確保を施行したり、痒みにより安眠が妨害されないよう皮膚の保湿に注意したりしています。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者様の得意分野をきちんと見極めて、それぞれの皆様に活躍して頂く場を提供しています。		今年度は、生涯学習にて書道の先生のご協力の下書道展に参加致しました。その他お裁縫や清掃洗濯物ほしや洗濯物たたみ等積極的に手伝っていただけます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者様ご本人がお金を持つ事に対しては、ご家族様の御理解とご協力が必要と思われれます。		小額のお金を御自分で所持されている利用者様も居りますがほとんどの方がお財布などの置き場所管理が困難でお持ちになっておりません。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	敷地内におけるお散歩などは可能な限り施行しますが、日課として1人一人の御希望に沿って個別での外出対応は困難です。		お天気の良い日の日中に利用者様皆様を日光浴しながらお茶を頂いたり歌を唄ったり致します。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	個別で御希望の場所へ行ったりするのは、お誕生日希望叶え隊として取り組んでおります。		お誕生日希望叶え隊では、1人の利用者様に1人の職員が付き御希望に沿っての一日を過ごしていただきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様との相談の上施行致します。		ホームからの電話については、ご家族様の都合や時間などを充分に考慮して上で執り行います。手紙などは年賀状を書いていただきますがその他の手紙などはご家族様と御相談の上に行ないます。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	ご家族様や地域の方、またお友達などいつでも歓迎しております。		面会にいらした場合、お部屋にてゆっくりとお話を楽しんでいただけるようお声がけをさせて頂きながらお茶だしを致します。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行なっておりませんが、職員の体制が新入職が多いため全職員が身体拘束についての正しい理解は困難と思われれます。	○	今後は、身体拘束などの研修に出来る限り参加してより正しい知識の元の支援に努めたいと思います。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	現在は、非常に難しい問題です。また、鍵は自動の施行となっております。	○	職員の体制が増員されたり、イベントの時に開放するなど、可能です。今後検討をして行きます。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中夜間通して、9名の人数確認把握に努めております。		日中は体調不良や本人希望で居室で過ごされる以外は出来るだけホールにて皆様と一緒に過ごされる様に心掛けております。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	お裁縫の時の針の使用やはさみを使用する際など出した本数を決め、その後確認をするなどしております。		針や刃物のほか、異食の危険がある方などのレクは十分な注意を必要としております。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	危険を回避する為に細心の注意と配慮をしております。		転倒を防止する為の見守りや夜間の義歯はお預かりする。内服薬については配薬、内服。確認まで全て職員が施行し、離苑についてもマニュアル(手順書)や名札の利用など事故防止対策に取り組んでおります。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	新入職員については、訓練を確実にいき急変時の対応に不安が無い様に行きたい。	○	急変時の対応が万全となる様に訓練の機会や話し合いが出来るようにしていきたい。また、救命救急についても同様です。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時の非難については、日中夜間の非常災害訓練を職員は順番に施行しています。		また、パトライトの設置により、緊急時の非難などが外部にも知らせて、協力が得られるように、玄関外に取り付けます。他、同敷地内にはグループホームや老健もあり非常時の体制も出来ております。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	利用者様それぞれについてのリスクや全体に起こりうるリスクそれぞれ考慮して説明しました、起きてしまった時もその都度対策を検討しお話しします。		入所の際にリスクについて十分に説明をさせて頂いておりますが入所されて1週間から1、2ヶ月と利用されてきてから起こる事故などその都度検討してお話しさせていただきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	いつもと何か違うなど細かに観察し、体調の変化や体調不良についての早期発見に努めております。	○	新入職員の1人一人が体調についての変化に早期発見が出来るよう観察力や知識の習得に努められる様に致します。体調の変化に気付いた時の対応についても周知徹底できるように努めます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が利用者様の内服薬に対して、理解はされていないと思います。	○	服薬に対して、目的・効能、副作用などに理解が深められるよう致します。また用法や用量については一覧表などを用いて誤薬のない様にしております。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者様の排便状況や便秘については周知できております。		緩下剤の服用に頼らず、水分補給や乳製品、果物、繊維質の多い食品の摂取、運動不足に対しては、リハビリ体操やレク体操の導入などを行っていますが、それでも排便が促されない場合、医療サイドから処方されている下剤を使用します。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	1日、起床時と毎食後の合計4回口腔ケアを施行して下ります。		自立されている方は口腔ケアの声掛けで施行されますが、困難な方は、一部介助から全介助で施行しております。夜間は義歯を職員がお預かりして事故や汚染防止をしており、毎週土曜日はボリデントの使用で清潔保持に努めております。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別ケアにて対応しております。		一日の食事摂取量や水分量が確保できるようにキザミ食や時間差を作って対応しております。また水分については多種類準備しており好みの飲み物で確保できます。
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染対策マニュアルに準じて対応します。		通常より、利用者様から職員までが手洗い消毒やうがい徹底しており予防に努めております。また感染症についてはマニュアルに従います。」
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理についても周知徹底しております。		調理器具や食器は洗浄の後乾燥機を使用して高熱処理しております。ゆえに布巾などの使用も減少しますが、使用した布巾は台所用塩素系漂白剤または、酸素系の漂白剤を使用して消毒いたします。食品についても賞味、消費期限などがすぐに見えるような状態で保管し期限切れは破棄します。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり			
(1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節にもよりますが、「玄関やポーチなどにお花や緑を置いたりします。		ホームの玄関はガラス張りになっていますので玄関内もよく見えますので、利用者様に活け花をしていただいたのを置いたり季節感を出して温かい雰囲気を中心掛けております。
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや玄関には季節感が出るような飾り付けをしております。		ホールにあるテーブルは書道用や通常用、イベント用などその時々において変更したり、歳時記として、お正月は正月飾りに始まり、節分や桃の節句や桜の花梅雨の時期にはあじさいなどと出来る限り季節感を大切にしております。
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールの席順にとっても苦勞しております。		お話好きな方やトイレが近い方が良い方などご希望がそれぞれあります。また日によって気分が色々変化され易いのでとても難しいです。出来るだけ好きなように過ごしていただきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族様の協力の下、家でお使いになっていた物を引き続き利用いたします。		入所されてから少しずつ、身の回りの品物やあまり大きすぎない比較的軽量な家具などをお持ちいただいております。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	季節や気候、室温などに配慮しながら換気に努めております。		夏季は早朝の換気に始まり、雨季梅雨時の湿気に対してもまめに換気し秋は気持ちの良い風を取り入れ、冬季は室温にちゅういしながら換気と暖房を併用したりします。
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	開設当初から設置されているものから必要に応じて随時工夫いたします。		歩行の安全性に応じた居室とトイレの距離や利用者様に応じたベットの位置その他手すりなども危険や不便を感じたときなどに工夫いたします。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	良く理解されている方や混乱されている方混乱の時期を過ぎてしまった方など様々です。		利用者様の自立度が比較的に高い方から意思の疎通が困難な方までと範囲が広く、支援の厚さに差が生じますが、出来るだけ最小限の支援、介助で一日が楽しく安全に過ごしていただけるように見守り待ちます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	季節や気候に勿論応じてですが、オープンカフェとしてお茶を召し上がって頂いたり、夕涼み会や花火大会のときなど外を楽しんでいただいております。		今年の夏は家族会を兼ねた夕涼み会に合わせて、夕顔の種を播きましたが時期が少し遅かった為夕顔の花見は出来ませんでした。今後は、下準備をもっと確実に執り行いたいせず。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

当グループホームめだかでは適材適所の活躍場面創りをそしてチャレンジ精神を大切にしています。毎日の生活に張り合いがあり、積極的な時間を過ごして頂ける様に努めて参ります。